

## 4. 結び

阪神・淡路大震災対応技術特別研究委員会は平成7年10月に発足以来、約1年6ヶ月の調査研究活動を行ってきた。その間、アンケートやヒヤリング等で、多くの機関と技術者にご協力をいただいた。また、委員会が主催したフォーラム「大震災の教訓を活かすために」ではパネリストと多くの参加者の協力を得たほか、共催として土木学会関西支部の協力を得た。一方、建設コンサルタント委員会、土木施工研究委員会、ならびに建設マネジメント委員会には、設計技術、施工技術、防災システムの3部会の活動をそれぞれご支援していただいた。各位、各機関のご協力に感謝する次第である。

ご多忙の中を委員会の副委員長として貢献された野尻陽一氏（鹿島建設株式会社）、施工技術検討部会第二ワーキンググループのグループリーダとして貢献された嶋田三郎氏（前田建設工業株式会社）の両氏は、委員会の終了を待たず急逝された。両氏のご貢献が大なるものであったことをここに述べ、哀悼の意を表するものである。